

Panasonic®

# 取扱説明書

マルチメディア授業支援システム

オーサリングソフト

品番 WE-AS870A

このたびは、オーサリングソフトをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

# はじめに

---

本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供され、その内容に同意する場合のみ使用することができます。本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがあります。また、本書には正確な情報を記載するように努めましたが、誤りや不正確な記述があった場合にも、松下電器産業株式会社（Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.）はいかなる責任、債務も負わないものとします。

## 商標および登録商標について

---

- L3 Stagelは、松下電器産業株式会社の商標です。
- PERSONAL SURROUNDは、松下電器産業株式会社の登録商標です。
- Adobe®、Adobeロゴ、Acrobat® Reader®は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Microsoft®、DirectX®、Windows®およびWindowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft® Excellは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

## 著作権について

---

本製品を使用して、他人の著作物（例：CD、DVD、ビデオなどの媒体に収録されている映像・音声・静止画など）を録音、録画、編集する場合、以下の点に注意する必要があります。

- (1) 著作権上、個人的に使用する目的で著作物を複製する場合を除き、その他の複製あるいは編集などが著作権を侵害する恐れがあります。収録されている媒体などにより示されている権利者、販売元または権利者団体などを介して、著作権・著作権者から許諾を得て、複製、編集などを行う必要があります。
- (2) 学校その他の教育機関における著作物（教材など）の複製は、著作権法第35条で、その授業の過程における使用に供することを目的とする場合には、必要と認められる限度において、かつ著作権者に損害を与えない範囲において著作物を複製できる、となっています。また、著作物（教材など）、またはその複製物は、著作権者の権利を侵害しない限り、お客様の責任において自由にお使いいただくことができます。

# もくじ

---

はじめに .....	2
商標および登録商標について .....	2
著作権について .....	2
パッケージの内容 .....	4
免責について .....	4
本書およびマニュアルについて .....	5
主な機能 .....	9

---

## ●基本操作編

起動方法 .....	10
起動する .....	10
終了する .....	13
教材変換ソフトを起動する .....	14
起動する .....	14
ユーザー名を入力する .....	14
終了する .....	15

---

## ●設置編（システム管理者向け）

インストール .....	16
動作環境の設定および確認 .....	16
セットアップ手順 .....	17
オーサリングソフトWE-AS870Aをインストールする .....	19
使用する環境ごとの設定（オーサリングソフト） .....	23
使用環境の設定 .....	24
ネットワーク設定 .....	25
ネットワークドライブ設定 .....	26
音声設定 .....	27
AV機器名称設定 .....	28
ボリュームコントロールに関する設定 .....	29
CDドライブ用アナログ用設定 .....	32
フォルダーのセキュリティ設定 .....	34
システム動作確認 .....	35

---

## ●付録

トラブルシューティング .....	39
エラーメッセージ一覧 .....	43

---

# パッケージの内容

---

- CD-R

CD-Rには、次のデータが収められています。

- ・ オーサリングソフト
- ・ 操作マニュアル
- ・ Acrobat Reader 5.1
- ・ DirectX9.0bランタイム

- 取扱説明書（本書）

## 免責について

---

- 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
  - ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
  - ② お客様の誤使用や不注意による損害または本商品、教材の破損等
  - ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それ起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
  - ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、運用（授業を含む）ができないことなどによる不便・損害・被害
  - ⑤ 第三者が製造した機器、ソフトウェア等（弊社が組み込みあるいは推奨したかどうかにかかわらず）の不具合またはそれらと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
  - ⑥ 利用者または第三者により、本商品を構成するネットワークの管理者エリア等へ不正アクセスが行われ、あるいは当該ネットワークから外部ネットワークへ不正アクセスが行われること、またはかかる不正アクセスに伴う不具合および損害・被害等（データの改ざん、個人情報の漏えいを含む）

# 本書およびマニュアルについて

## ●本書の見かた

本書は、“基本操作編”と“設置編”に分かれています。

### 基本操作編

起動時の操作方法などについて説明しています。操作の前によくお読みください。操作のしかたなどは、操作マニュアルで説明しています。

### 設置編

インストールや環境設定など設置に関する内容を説明しています。システム管理者および工事業者の方は、はじめによくお読みください。

## ●文章上の表現

- ・画面上のボタン類を [ ] でくくり、あらわしています。  
[ ] 内の名称は、画面上の表示と一致しています。  
(例) [音声教材新規作成] ボタン
- ・"☞" は、参照ページをあらわしています。

## 本書で使用している用語について

- ・MTR教材 : マスターテープレコーダーで再生する教材です。
- ・WBT型教材 : 音声教材に静止画、テキスト、問題設定などを加えたWeb利用の教材です。オンデマンド開放で、Webブラウザを使って閲覧することができます。
- ・アナライザー教材 : アナライザー自動進行用の音声教材です。問題の選択肢数、正答番号、回答時間などが設定できます。
- ・オーディオサーバー : 音声教材、アナライザー教材などを登録しておくサーバーです。
- ・音声教材 : 一斉送出、オンデマンド開放で使用できる教材です。
- ・学習者パソコン : 学習者用のソフトがインストールされたパーソナルコンピュータです。学習者が使用します。
- ・管理パソコン : 管理用のソフトがインストールされたパーソナルコンピュータです。先生が使用します。

## 本書およびマニュアルについて（つづき）

---

- ・教材作成パソコン : オーサリングソフトをインストールして、教材を作成するパーソナルコンピューターです。
- ・サーバー教材 : WBT型教材、アナライザー教材、サーバー音声教材の総称です。
- ・サブモニター : 学習者に教材映像を見せるために設置したモニターです。
- ・システム : マルチメディア授業支援システムです。
- ・スチューデントユニット : 学習者用の音声入出力ユニットです。ヘッドセットの音量調節などを行います。
- ・制御パソコン : 制御用のソフトがインストールされたパーソナルコンピューターです。先生が使用します。
- ・先生パソコン : 先生用のソフトがインストールされたパーソナルコンピューターです。先生が使用します。
- ・ティーチャーユニット : 先生用の音声入出力ユニットです。ヘッドセットの音量調節などを行います。
- ・ビデオサーバー : WBT型教材の動画ファイルを登録しておくサーバーです。
- ・ファイル配信サーバー : ファイルの配布や回収を行うサーバーです。また、WBT型教材も登録します。
- ・プロセッサーユニット : AV機器からの教材送出や音声コミュニケーションを行うためのユニットです。
- ・補助制御パソコン : チームティーチングモードでサブチームの先生が使用する補助制御用のパーソナルコンピューターです。

---

## マニュアルについて

付属の操作マニュアル（PDFファイル形式）をご使用になる前に本書をよくお読みください。操作マニュアルをご覧になるためには、バージョン4.0以上のAdobe Acrobat Reader（日本語版）が必要です。インストールされていない場合は、本ソフトのCD-Rに収録されているAcrobat Readerをインストールしてください。「Manual」フォルダー内の「AcroReader51-JPN.exe」アイコンをダブルクリックすると、インストールが開始されます。画面の指示に従ってください。

## 略称について

本書では、米国Microsoft Corporationの各製品を下記のように表記しています。

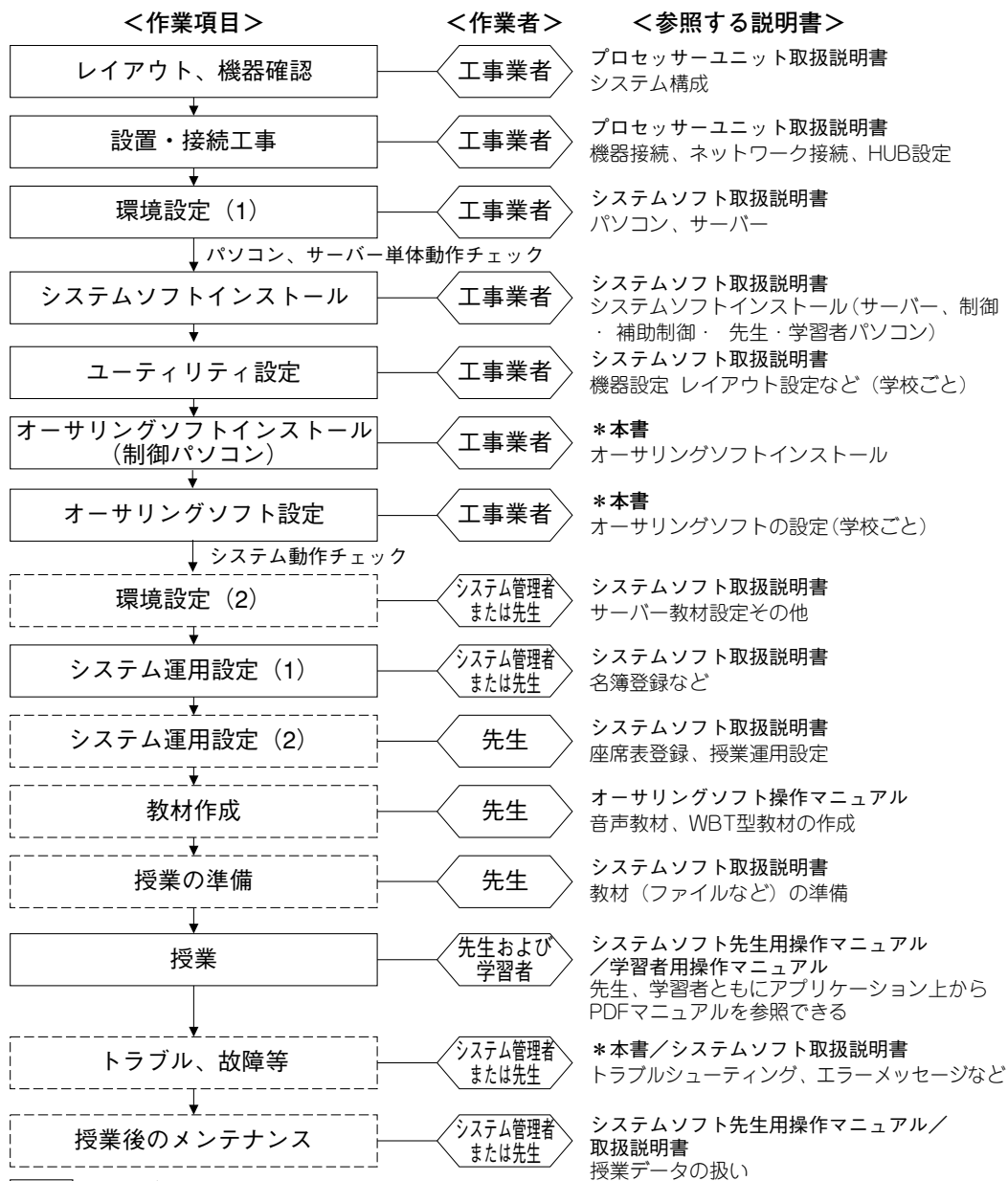
- Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition日本語版：Windows Server 2003
- Microsoft Windows 2000 Server日本語版：Windows 2000 Server
- Microsoft Windows XP Professional日本語版：Windows XP
- Microsoft Windows 2000 Professional日本語版：Windows 2000

また、上記製品のうちいくつかに関して共通の説明を記載している箇所では、これらをまとめてWindowsと表記しています。

# 本書およびマニュアルについて（つづき）

●システムの設置～運用・メンテナンスは、以下の手順に従って行ってください。

はじめに



□ は、必ず行ってください。  
□□□ は、必要に応じて行ってください。



# 主な機能

オーサリングソフト WE-AS870Aは、マルチメディア授業支援システム用の教材作成ソフトです。

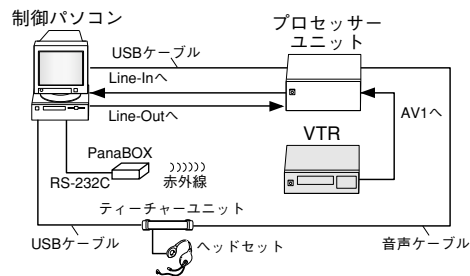
- AV機器からのアナログ音声を取り込みます。
- 音声データ取り込み時に、自動／手動センテンス分割することができます。
- センテンスにコメントを付加することができます。
- 音声教材に静止画、動画、テキスト、問題設定などを加えたWeb利用の教材を作成することができます。
- アナライザー自動進行用の音声教材を作成することができます。

## ●システム構成

本ソフトの運用状況によって、AV機器の動作が異なります。

### ・制御パソコン システムソフトからの起動時

セットアップ時に「制御PCにインストールしますか？」で [はい] を選択するか (☞21ページ)、ユーティリティーの使用環境の設定で「制御パソコンで使用する」を選択する (☞24ページ) 必要があります。

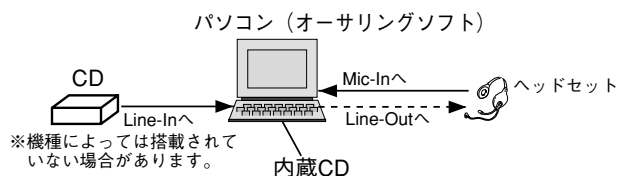


### 📌注意

プロセッサーユニットを使用しない構成の場合、先生PCのボリュームコントロールのLine Inのミュートのチェックを外してからオーサリングソフトを起動してください。

### ・本ソフト単独での起動時

セットアップ時に「制御PCにインストールしますか？」で [いいえ] を選択するか (☞21ページ)、ユーティリティーの使用環境の設定で「単独で使用する」を選択する (☞24ページ) 必要があります。



# 起動方法

## 起動する

本ソフトの起動には、次の2通りがあります。使用環境に合わせて起動してください。

- ・制御パソコン システムソフトからの起動方法
- ・本ソフト単独での起動方法

1. パソコンの電源を入れます。
2. 使用環境に合わせて、次の2通りから起動方法を選択します。

### ●制御パソコン システムソフトからの起動 (P.21,24ページ)

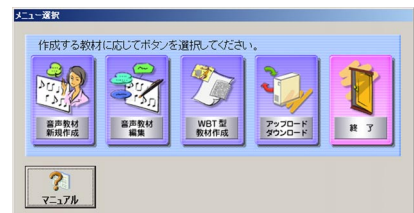
制御パソコンのトップメニューで [オーサリングツール] ボタンを押します (P.システムソフトに付属のマニュアル)。

→起動画面が表示されたあと、メニュー選択画面が表示されます。

図 起動画面



図 メニュー選択画面



### ●本ソフト単独での起動 (P.21,24ページ)

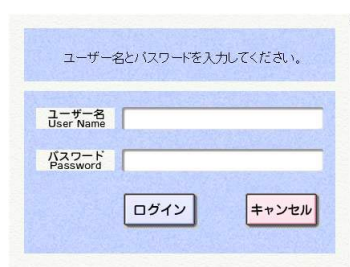
Windowsの [スタート] メニューから「プログラム」→「L3Stage」→「オーサリングソフト」を選択します。または、デスクトップ上の「オーサリングソフト」アイコンをダブルクリックします。

→起動画面が表示されたあと、認証画面が表示されます。

図 起動画面



図 認証画面



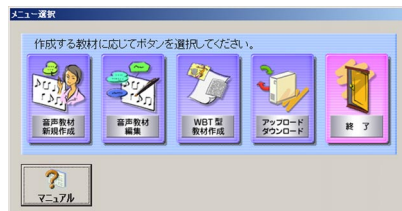
3. 名簿登録してあるユーザー名とパスワードを入力します。  
※制御パソコン システムソフトから起動した場合は、認証画面は表示されません。手順5から行ってください。
- ユーザー名とパスワードは、システムソフト側で登録します（システムソフトに付属の取扱説明書をご参照ください）。
- [キャンセル] ボタン  
: Windows画面（デスクトップ）に戻ります。

#### 🔊 エラーメッセージについて 🗨️

ネットワークに未接続の状態では本ソフトを起動した場合、エラーメッセージが表示されます。この状態で起動すると、サーバーへのアクセスを必要とする機能は使用できません。

4. [ログイン] ボタンを押します。  
→メニュー選択画面が表示されます。
- ユーザー名・パスワードを入力後に、[Enter] キーを押しても同様にメニュー画面が表示されます。
- [キャンセル] ボタン  
: Windows画面（デスクトップ）に戻ります。

図 メニュー選択画面



# 起動方法（つづき）

## ✎ユーザー名またはパスワードを間違えると✎

ユーザー名またはパスワードを間違えると、認証エラー画面が表示され、3回まで再入力できます。正しいユーザー名とパスワードを入力し直してください。

4回間違えると、認証拒否画面が表示されます。[OK] ボタンを押すと、Windows画面（デスクトップ）に戻ります。

図 認証エラー画面

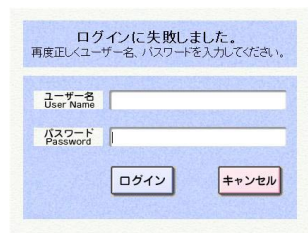
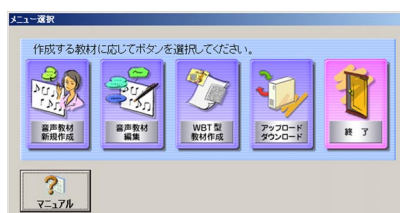


図 認証拒否画面



5. メニュー選択画面で、メニューを選択します。  
選択するメニューのボタンを押します。
- **音声教材新規作成**  
音声データを取り込み、音声教材を作成します。
  - **音声教材編集**  
作成した音声教材を編集します。
  - **WBT型教材作成**  
音声教材、静止画、動画、テキスト、問題設定などを加えたWeb利用のWBT型教材を作成、編集します。
  - **アップロード／ダウンロード**  
作成した教材をサーバーに登録したり、サーバーに登録された教材を任意のフォルダーにコピーします。

メニュー選択画面



[終了] ボタン

: Windows画面 (デスクトップ) に戻ります。

### 👉操作のしかた👈

操作のしかたは、操作マニュアルをご参照ください。

[マニュアル] ボタンを押すと、操作マニュアルが表示されます。

## 終了する

本ソフトの終了には、次の2通りがあります。起動環境に合わせて終了してください。

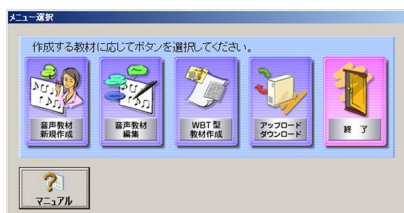
- ・制御パソコン システムソフトでの終了方法
- ・本ソフト単独での終了方法

1. 起動環境に合わせて、次の2通りから終了方法を選択します。

### ●制御パソコン システムソフトでの終了

メニュー選択画面で、[終了] ボタンを押します。

図 メニュー選択画面



### ●本ソフト単独での終了

メニュー選択画面で、[終了] ボタンを押します。

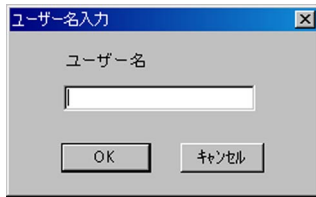
→Windows画面 (デスクトップ) に戻ります。

# 教材変換ソフトを起動する

## 起動する

1. Windowsの「スタート」→「プログラム」→「L3Stage」→「コンバーター」を選択します。  
→ユーザー名入力画面が表示されます。

図 ユーザー名入力画面



## ユーザー名を入力する

ユーザー名はシステムソフト側で登録されているユーザー名を入力します。登録されていないユーザー名を入力した場合、音声教材への変換は行えますが、その教材をオーディオサーバーへ登録して授業に利用することはできません。

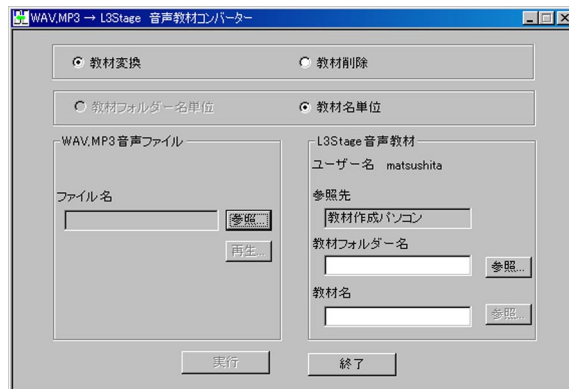
[OK] ボタン

: ユーザー名を入力して、[OK] ボタンを押します。

[キャンセル] ボタン

: Windows画面（デスクトップ）に戻ります。

図 音声教材コンバーターメイン画面



### 注意

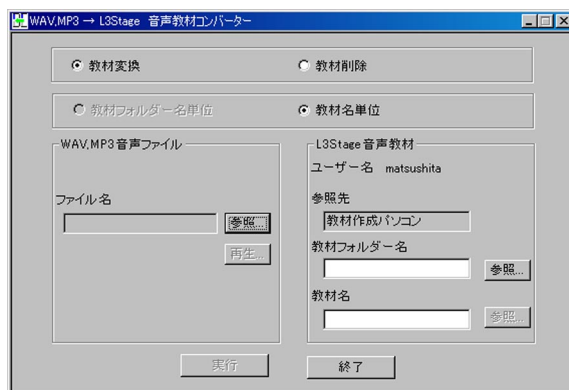
異なるユーザー名でログインしたユーザーが作成した教材は削除できません。

# 教材変換ソフトを終了する

## 終了する

[終了] ボタンまたは画面右上の [×] ボタンを押します。

図 音声教材コンバーターメイン画面



### 注意

音声教材変換中および教材削除中には、終了できません。それぞれの動作を完了、またはキャンセルをしてから教材変換ソフトを終了してください。

# インストール

---

## 動作環境の設定および確認

本ソフトをインストールする前に、各サーバーおよびパソコン単体での動作環境の設定および確認を必ず行ってください。

ここでの設定が正しく行われていないと、本システムをインストールしても、正常に動作しない場合があります。各機器の必要な性能条件は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

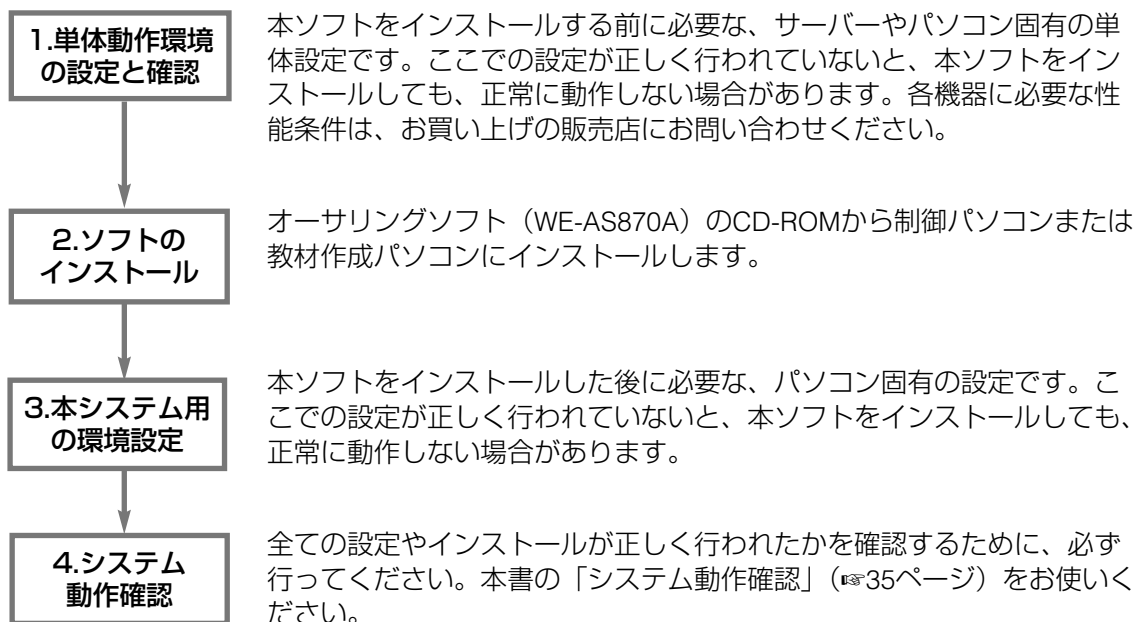
Windows XPをご使用の場合、コントロールパネルの表示方法が異なります。「スタート」メニューからコントロールパネルを選択してください。また、「アプリケーションの追加と削除」は、「プログラムの追加と削除」と表示されます。



---

## セットアップ手順

本システムのセットアップは、以下の手順で行います。



セットアップ手順は、次ページ以降の各機器ごとのセットアップの流れに沿って作業を行い、実施確認をしてください。詳細方法については、記載ページをご参照ください。

# インストール (つづき)

## ●オーサリングソフトのセットアップ

確認

単体動作環境の設定と確認	1. OSの確認 (Windows 2000またはWindowsXP) (使用製品の取扱説明書参照)	
	2. 関連コンポーネントの確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ USBドライバー (WE-AS810AまたはWE-AS860Aの取扱説明書)</li> <li>・ DirectXのVer9.0bランタイム (WE-AS870A CD-ROM)</li> <li>・ サウンドドライバー</li> <li>・ グラフィックドライバー</li> <li>・ MVR-D2200ドライバー</li> <li>・ LANドライバー</li> </ul> 注意 ドライバーは、必ず最新版をメーカーのホームページなどから入手してください。	
↓ ソフトのインストール	1. オーサリングソフトのインストール (19ページ)	
	2. Acrobat Readerのインストール WE-AS870A CD-ROMのManualフォルダー内のAcroReader51_JPN.exeをダブルクリック	
↓ 本システム用の環境設定	1. CDドライブの設定 (32ページ)	
	2. ユーティリティ設定 (23ページ)	
	3. フォルダーのセキュリティ設定 (34ページ)	

↓  
システム動作確認へ (35ページ)

## オーサリングソフト WE-AS870Aをインストールする

オーサリングソフトは、制御パソコン、教材作成パソコンにインストールします。

### ●インストール前に行うこと

Administrator権限のあるユーザーで、Windowsにログインしてから行ってください。また、以前のバージョンがインストールされている場合は、必ずアンインストール操作（☞22ページ）を行ってください。

### ●インストールのしかた

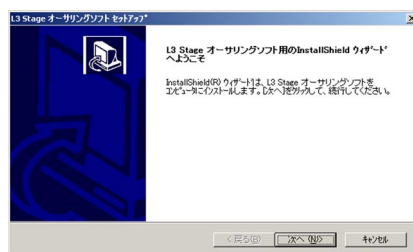
※ LANアドレス・画面の設定は、システムソフト（WE-AS860A）の取扱説明書をご参照ください。

1. オーサリングソフト（WE-AS870A）のCD-RをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
2. マイコンピュータのアイコンをマウスでダブルクリックしてウィンドウを開きます。
3. CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてウィンドウを開きます。
4. 「Authoring」フォルダー中のsetup.exeをダブルクリックして、セットアッププログラムを実行します。  
→起動画面後、ようこそ画面が表示されます。

図 起動画面



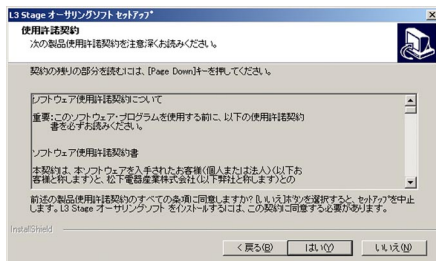
図 ようこそ画面



# インストール (つづき)

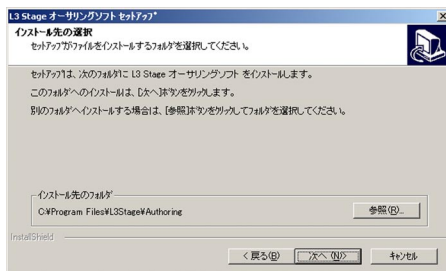
5. [次へ] ボタンをクリックします。  
→ライセンス契約画面が表示されます。内容をよくお読みください。

図 ライセンス契約画面



6. 内容をご確認後、[はい] ボタンをクリックします。  
→インストール先選択画面が表示されます。

図 インストール先選択画面



7. インストール先に問題がなければ、[次へ] ボタンをクリックします。  
変更したい場合は、[参照] ボタンをクリックすると、ディレクトリ  
選択画面が表示されます。

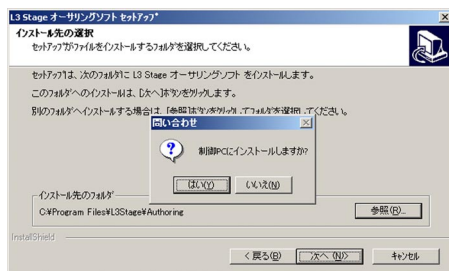
図 ディレクトリ選択画面



8. インストール先を選択し、[OK] ボタンをクリックします。  
→インストール先選択画面に戻ります。

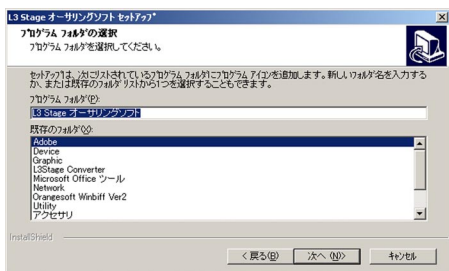
9. [次へ] ボタンをクリックします。システムソフト（WE-AS860A：別売品）の制御ソフトと同じパソコンにインストールする場合、質問画面が表示されますので、[はい] をクリックしてください。

図 質問画面



10. 同じパソコンにインストールしない場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。→プログラムフォルダー選択画面が表示されます。

図 プログラムフォルダーの選択画面



11. 「L3Stage」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。質問画面が表示されますので、インストールを継続する場合は [はい] をクリックしてください。

→ファイルコピー中画面の表示後、セットアップ完了画面が表示されます。

図 ファイルコピー中画面

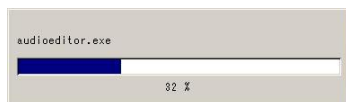
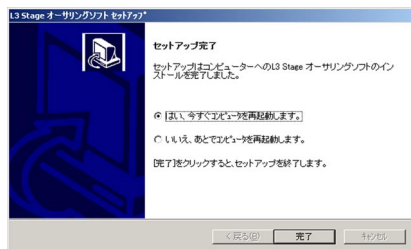


図 セットアップ完了画面



12. “はい、直ちにコンピュータを再起動します。” を選択し、[完了] ボタンをクリックします。

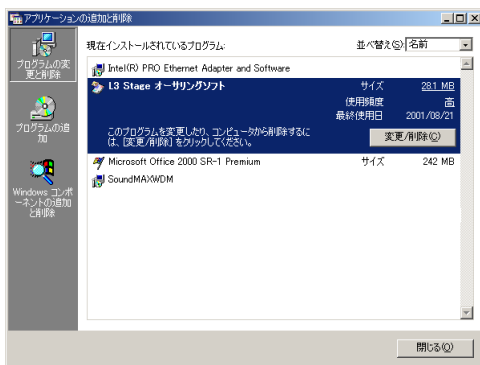
# インストール (つづき)

## ●アンインストールのしかた

オーサリングソフトを削除するときは、次の方法で行ってください。

1. Windows コントロールパネルの“アプリケーションの追加と削除プロパティ”を開きます。  
→アプリケーションの追加と削除プロパティ画面が表示されます。

図 アプリケーションの追加と削除プロパティ画面



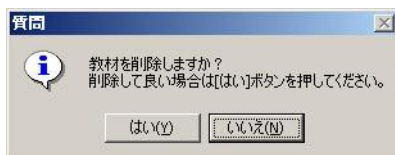
2. オーサリングソフトを選択して、[変更/削除] ボタンをクリックします。  
→ファイル削除確認画面が表示されます。

図 ファイル削除確認画面



3. [はい] ボタンをクリックします。  
→教材削除確認画面が表示されます。すでに教材が登録されている場合、その教材の削除の有無を確認します。

図 教材削除質問画面



4. [はい] ボタンまたは [いいえ] ボタンをクリックします。  
→アンインストールが開始されます。完了すると画面が自動的に閉じます。

# 使用する環境ごとの設定 (オーサリングソフト)

オーサリングソフトをインストールした後、下記設定を行う必要があります。設定の手順は、次の通りです。

- 1.使用環境の設定：必須 (☞24ページ)
- 2.ネットワーク設定：必須 (☞25ページ)
- 3.ネットワークドライブ設定：必須 (☞26ページ)
- 4.音声設定：必要に応じて行ってください (☞27ページ)
- 5.AV機器名称設定：必要に応じて行ってください (☞28ページ)
- 6.ボリュームコントロールに関する設定  
：必要に応じて行ってください (☞29ページ)
- 7.CDドライブのアナログ用設定  
：必要に応じて行ってください (☞32ページ)
- 8.フォルダーのセキュリティ設定  
：必要に応じて行ってください (☞34ページ)

## 📌 注意 📌

本ソフトを制御パソコン内にインストールする場合、ネットワーク設定、ネットワークドライブ設定を、制御パソコンのユーティリティ設定と合わせる必要があります。

# 使用する環境ごとの設定 (オーサリングソフト) (つづき)

## 使用環境の設定

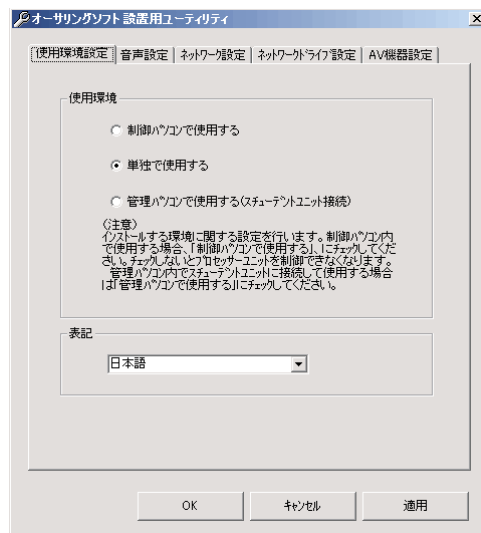
Windowsの「エクスプローラ」を開き、次のファイルを起動します。

C:\Program Files\L3Stage\Authoring\Utility.exe (デフォルトパス)

→ユーティリティが起動し、使用環境設定が表示されます。

ユーティリティが起動したら、[使用環境設定] タブを選択してください。  
オーサリングソフトを使用する環境 (p.9ページ) を選択し、使用する言語  
を選択してから、[適用] ボタンを押してください。

図 使用環境の設定画面



### 注意

本ソフトを制御ソフトから起動した場合、表示される言語は、制御ソフトのシステム運用管理にある先生別設定で設定された内容に従います。

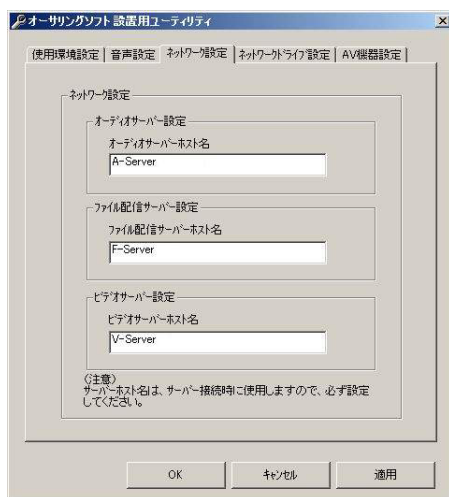
本ソフトで「日本語」に設定しても、制御ソフトを使用する先生の設定が「英語」の場合は、英語で表示されます。



## ネットワーク設定

あらかじめ、オーディオサーバーのホスト名、ファイル配信サーバーのホスト名をご確認ください。次に [ネットワーク設定] タブを選択し、オーディオサーバー、ファイル配信サーバーのホスト名を入力して、[適用] ボタンを押してください。

図 ネットワーク設定画面



### 🔗 ビデオサーバー利用しない場合 🔗

「ビデオサーバーホスト名」の入力欄には、「オーディオサーバーホスト名」の入力欄と同じ内容を入力してください。

### 🔗 注意 🔗

- オーサリングソフトで教材をアップロード、ダウンロードする際、各種サーバーに接続する必要があります。
- オーディオサーバー・ファイル配信サーバー・ビデオサーバーの各フォルダーの共有設定は、システムソフト WE-AS810AまたはWE-AS860Aの取扱説明書「フォルダーの共有設定確認」をご参照ください。

# 使用する環境ごとの設定 (オーサリングソフト) (つづき)

## ネットワークドライブ設定

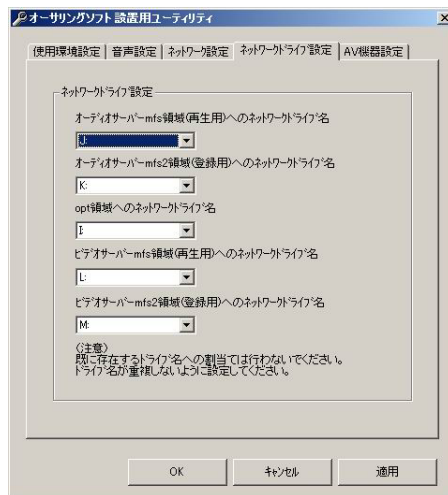
次に [ネットワークドライブ設定] タブを選択し、既存ドライブと重複しないようにドライブ名を選択してください。

通常は、ここでユーティリティの設定項目は終了です。

[OK] ボタンを押してパネルを閉じると、設定内容が反映されます。

ビデオオーサリングソフトをセットアップした場合は、ビデオサーバーの mfs\$, mfs2\$へのネットワークドライブ名を設定してください。

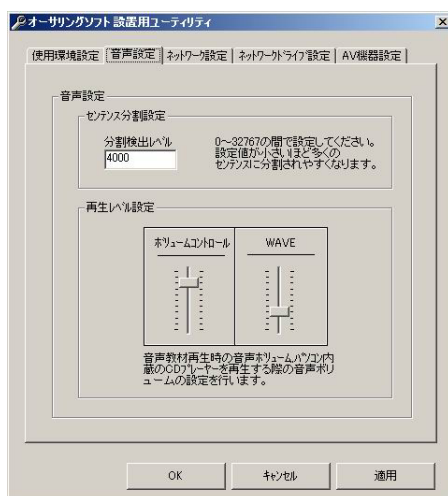
図 ネットワークドライブ設定画面



## 音声設定（必要に応じて行ってください）

〔音声設定〕タブを選択してください。センテンス分割時に使用する自動センテンス分割検出レベルの設定、ならびに作成した音声教材を再生する場合、教材作成パソコン内蔵のCDプレーヤーを再生する場合の音量ボリュームの設定を行うことができます。自動センテンス分割検出レベルに関しては、値を小さく設定すると、センテンスを細かく分割することができます。

図 音声設定画面



## 使用する環境ごとの設定 (オーサリングソフト) (つづき)

### AV機器名称設定 (制御パソコンにセットアップした場合)

[AV機器名称設定] タブを選択し、プロセッサユニットに接続されているAV機器のアイコンとAV機器名称を設定してください。AV機器の名称は半角20文字まで入力可能です。入力しない場合、システムソフトのユーティリティの設定内容が表示されます。

AV機器のアイコンを設定する場合は、[変更] ボタンを押すと、AV機器アイコン設定画面が表示されますので、設定するアイコンを選択してください。AV機器名称の初期設定は、システムソフトのユーティリティで設定された名称になります。設定が終了したら [変更] ボタンを押してください。

図 AV機器名称設定画面



図 AV機器アイコン設定画面



## ボリュームコントロールに関する設定 (必要に応じて行ってください)

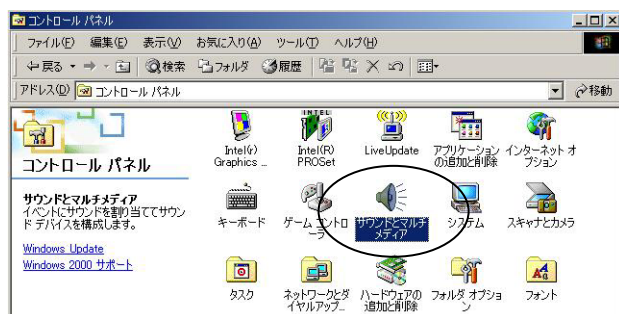
オーサリングソフトを起動した際に、下記メッセージが表示される場合があります。その場合は、次の手順に従って設定を行ってください。

### メッセージ内容

- A The volume control play audio is not existed.
- B The line in record audio line is not existed.  
The line in play audio line is not existed.

1. マイコンピュータのアイコンをマウスでダブルクリックしてウィンドウを開きます。
2. コントロールパネルのアイコンをマウスでダブルクリックしてウィンドウを開きます。

### 図 コントロールパネル



3. コントロールパネルのウィンドウから [サウンドとマルチメディア] のアイコンをマウスでダブルクリックしてウィンドウを開きます。  
→サウンドとマルチメディアのプロパティ画面が表示されます。

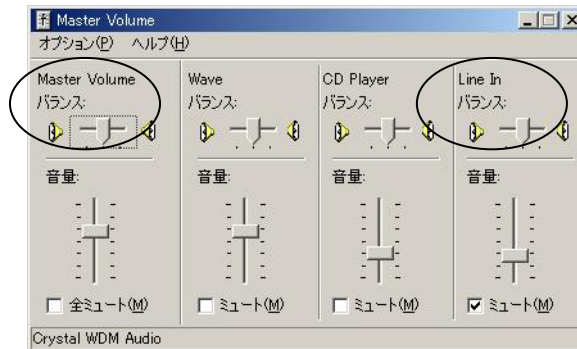
## 使用する環境ごとの設定 (オーサリングソフト) (つづき)

図 サウンドとマルチメディアのプロパティ画面



4. サウンドとマルチメディアのプロパティ画面内で [オーディオ] タブを選択し、“音の再生” から [音量] ボタンをクリックします。  
→ボリュームコントロール画面が表示されます。
5. ①ボリュームコントロール画面の [オプション] の [プロパティ] を選択し、“音量の調整” で [再生] が選択されていることを確認します。  
②表示するコントロールとして、下図の [Master Volume] と [Line In] に相当する部分が選択されていることを確認します。

図 ボリュームコントロール画面



6. オーサリングソフトが起動していないことを確認し、オーサリングソフトがインストールされているフォルダーからAuthCfg.iniを表示します。初期設定では“C:\Program Files\L3Stage\Authoring” にインストールされています。

## 7. メッセージAが表示される場合

ボリュームコントロール画面内の①に表示される名称をAuthCfg.iniファイルの下記に追加します。

### 例 30ページのボリュームコントロール画面の場合

プロパティ名称は “Master Volume”

[SOUNDDEVICE\_NAME]

<変更前>

NUM\_OF\_VOLUMECONTROL\_NAME=3

VOLUMECONTROL\_NAME1=ボリュームコントロール

VOLUMECONTROL\_NAME2=Volume Control

VOLUMECONTROL\_NAME3=スピーカー

<変更後>

NUM\_OF\_VOLUMECONTROL\_NAME=4 ← 1を加算

VOLUMECONTROL\_NAME1=ボリュームコントロール

VOLUMECONTROL\_NAME2=Volume Control

VOLUMECONTROL\_NAME3=スピーカー

VOLUMECONTROL\_NAME4=Master Volume ← 名称を追加

### メッセージBが表示される場合

メッセージAと同様に、“NUM\_OF\_LINE\_NAME”、“LINE\_NAME”というパラメーターに対して、下記例に従って新規登録作業を行います。

### 例 30ページのボリュームコントロール画面の場合

プロパティ名称は “Line In”

[SOUNDDEVICE\_NAME]

NUM\_OF\_LINE\_NAME=7 ← 1を加算

LINE\_NAME1=ライン入力

LINE\_NAME2=ライン入力

LINE\_NAME3=ライン

LINE\_NAME4=ライン

LINE\_NAME5=Line-In

LINE\_NAME6=LineIn

LINE\_NAME7=Line In ← 名称を追加

8. 追加が完了したら、AuthCfg.iniファイルを上書き保存し、オーサリングソフトを起動して動作確認をします。

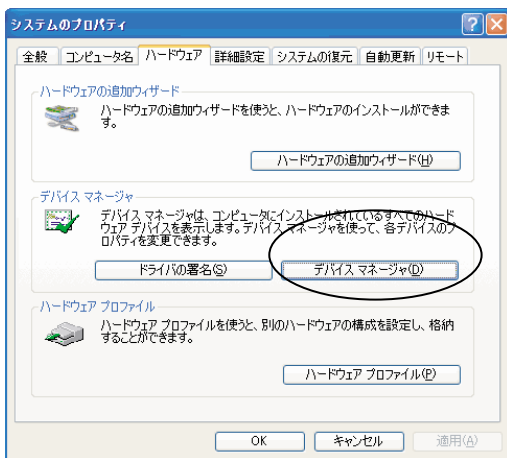
# 使用する環境ごとの設定 (オーサリングソフト) (つづき)

## CDドライブのアナログ用設定

WindowsXPでは、音声教材の新規作成で、内蔵CDドライブから音声の取り込みができないことがあります。この場合、内蔵ドライブの設定を変更する必要があります。

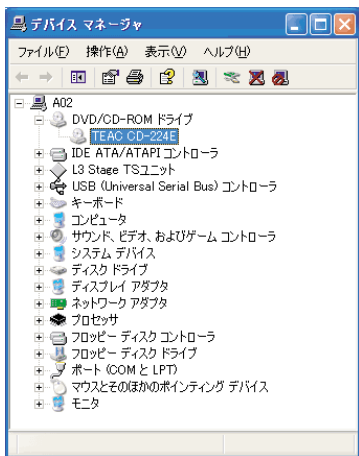
1. Windowsのコントロールパネルを開き、「システム」のプロパティを開きます。
2. 「ハードウェア」タブを開き、[デバイスマネージャ] ボタンを押します。

図 システムのプロパティ



3. デバイスマネージャでCD-ROMドライブを選択し、右クリックメニューから「プロパティ」を選択します。

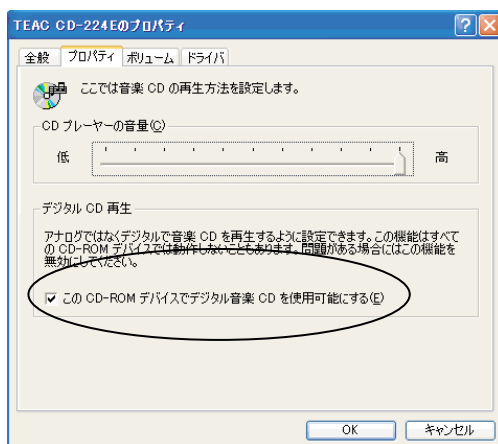
図 デバイスマネージャ





4. CD-ROMのプロパティ画面で「プロパティ」タブを選択し、 “このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする” のチェックを外します。  
→ [OK] ボタンを押して、設定を確定します。

図 CD-ROMのプロパティ画面



# 使用する環境ごとの設定 (オーサリングソフト) (つづき)

## フォルダーのセキュリティ設定

※ファイルシステムがNTFSの場合のみ

ディスクのファイルシステムがNTFSの場合で、本システムをAdministrator権限以外のユーザーまたはグループでご使用の場合、各パソコンで下表のフォルダーに対して、セキュリティの設定を行ってください。

対象パソコン : 教材作成パソコン (制御パソコン)  
フォルダー名 : C:\Documents and Settings\All Users\デスクトップ  
                  C:\Program Files\L3Stage  
                  C:\opt  
                  C:\mfs  
アクセス許可 : フルアクセス

1. Windowsの「エクスプローラ」を開き、上表のフォルダーを選択して、マウスの右ボタンメニューからプロパティを選択します。  
→フォルダーのプロパティ画面が開きます。
2. 「セキュリティ」タブで全ユーザーを追加し、アクセス許可が「フルコントロール」になるように設定してください。

図 仮想ディレクトリエイリアス画面

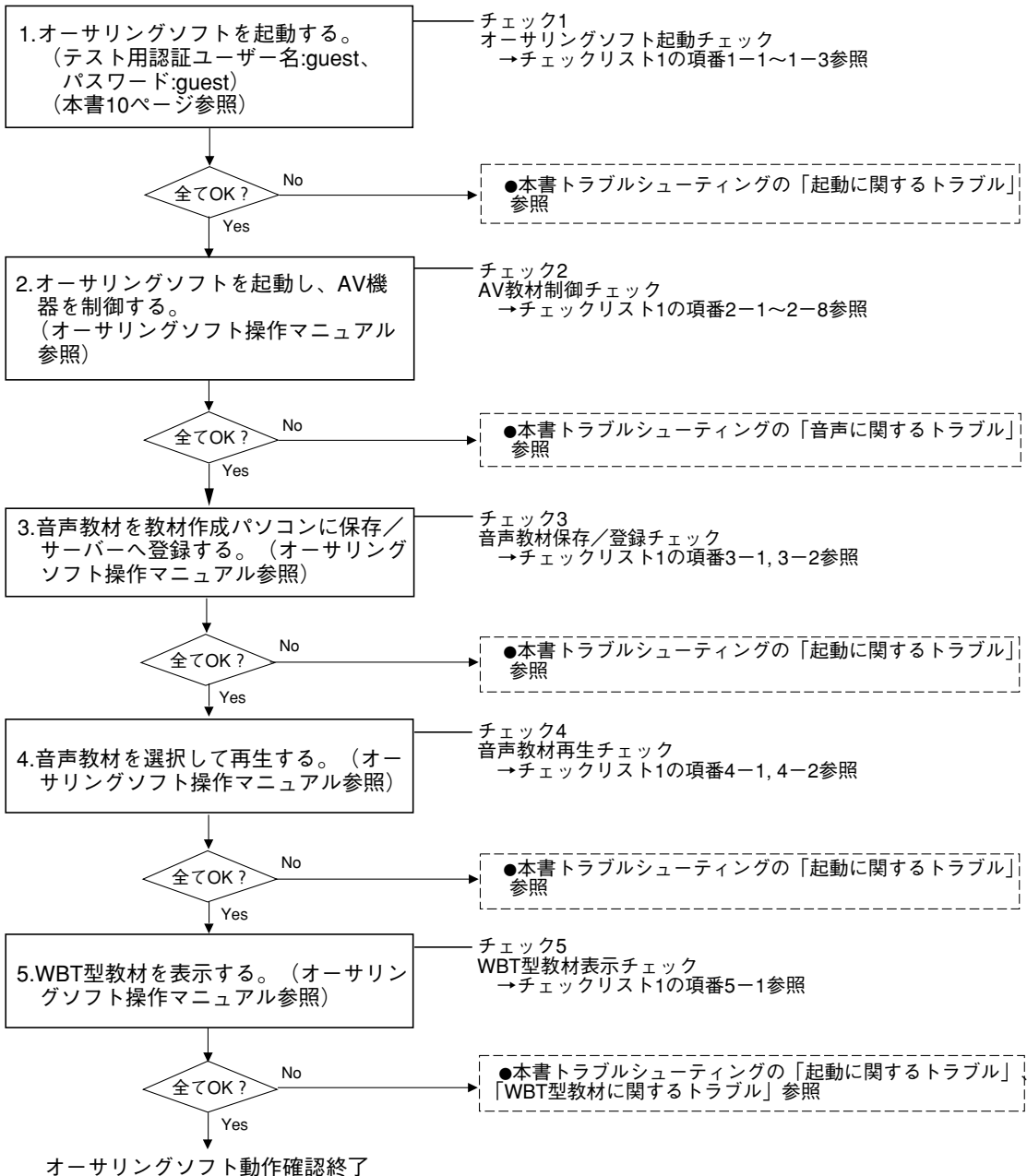


# システム動作確認

システムの設置・接続・ソフトウェアのインストール後には、必ず以下の手順に従ってオーサリングソフトの動作チェックを行ってください。

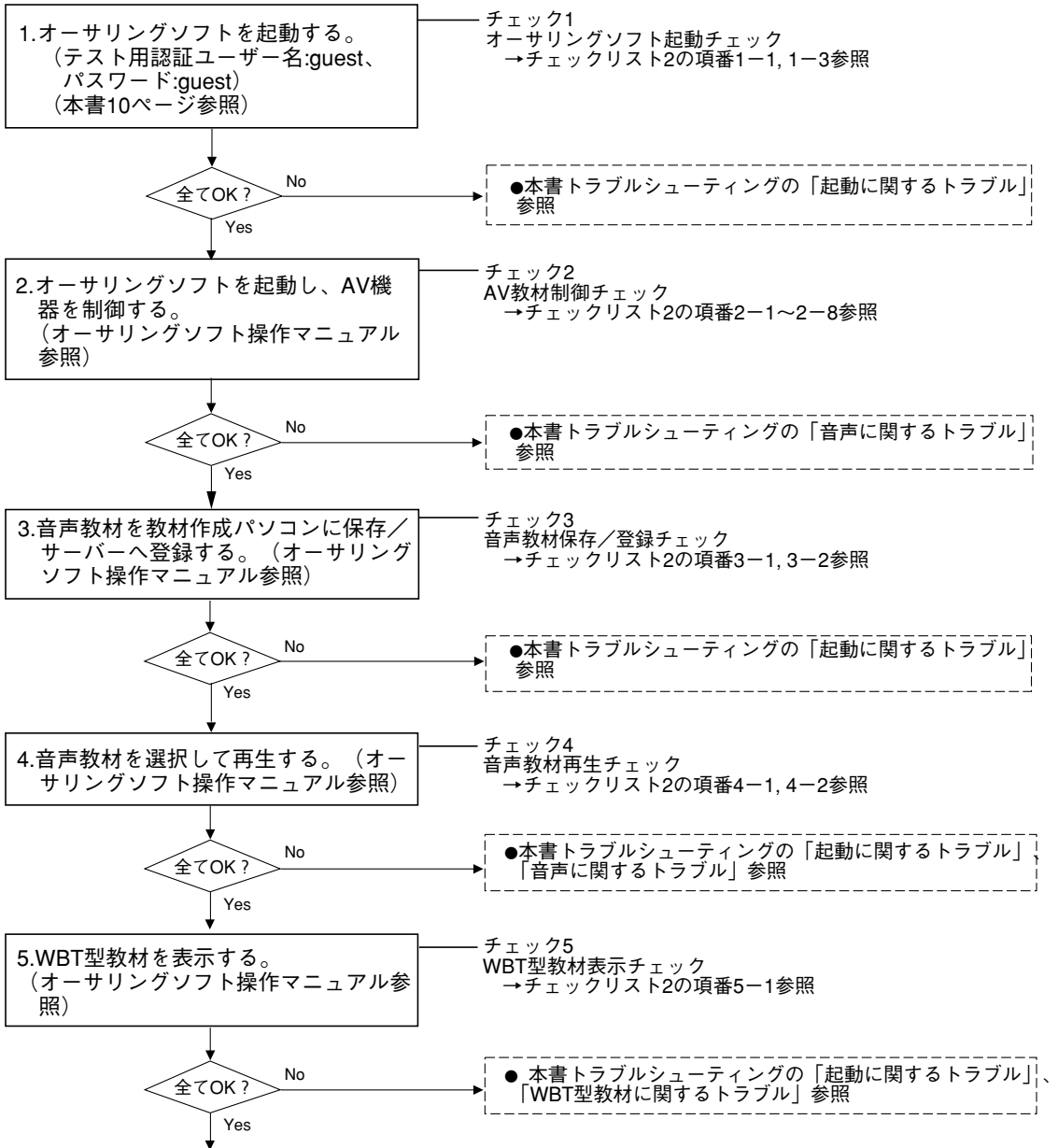
動作確認は、動作チェックリスト（☞37,38ページ）を使用して行ってください。

## 制御パソコン内で動作の場合



# システム動作確認 (つづき)

## 単独で動作の場合



オーサリングソフト動作確認終了

## 動作チェックリスト1 (制御パソコン内で動作の場合)

動作チェック時にお使いください(チェック欄に○×を記入)。

チェック項目		確認内容	チェック欄
チェック	項番		
チェック1	オーサリングソフト起動	1-1 プログラムフォルダーから単独で正常に起動する	
		1-2 認証画面が表示され、ログイン後に正常にメニュー画面が表示されること	
		1-3 システムソフトのトップメニューから正常に起動し、メニュー画面が表示されること	
チェック2	AV1制御	2-1 AV機器選択画面でリモコンできる ヘッドセット、教室スピーカーから音声が聞こえる	
	AV2制御	2-2 AV機器選択画面でリモコンできる ヘッドセット、教室スピーカーから音声が聞こえる	
	AV3制御	2-3 AV機器選択画面でリモコンできる ヘッドセット、教室スピーカーから音声が聞こえる	
	MD/CD制御	2-4 AV機器選択画面でリモコンできる ヘッドセット、教室スピーカーから音声が聞こえる	
	AUX制御	2-5 AV機器選択画面でリモコンできる ヘッドセット、教室スピーカーから音声が聞こえる	
	MTR制御	2-6 AV機器選択画面でリモコンできる ヘッドセット、教室スピーカーから音声が聞こえる	
チェック3	マイク制御	2-7 AV機器選択画面でマイク選択、未選択でトークバックが切り換わる ヘッドセット、教室スピーカーから音声が聞こえる	
	内蔵CD-ROM制御	2-8 AV機器選択画面でリモコンできる ヘッドセット、教室スピーカーから音声が聞こえる	
チェック4	教材作成パソコンに教材保存	3-1 AV機器を選択して音声取り込みができる 教材作成パソコン内に音声教材を保存できる	
	サーバーに教材登録	3-2 AV機器を選択して音声取り込みができる サーバーへ音声教材を登録できる	
チェック5	教材作成パソコン内の音声教材再生	4-1 教材作成パソコン内の音声教材を参照できる / 音声教材を選択して再生できる ヘッドセット、教室スピーカーから音声が聞こえる	
	サーバー内の音声教材再生	4-2 サーバー内の音声教材を参照できる / 音声教材を選択して再生できる ヘッドセット、教室スピーカーから音声が聞こえる	
チェック5	WBT型教材作成画面からプレビュー実施	5-1 Internet Explorerが正常に起動できる / WBT型教材が正常に表示できる / 動画ファイルを再生できる / アップロード・ダウンロードができる / ヘッドセット、教室スピーカーから音声が聞こえる	

コピーしてお使いください。

## 動作チェックリスト2（単独で動作の場合）

動作チェック時にお使いください（チェック欄に○×を記入）。

チェック項目		確認内容	チェック欄
チェック1	項番		
チェック1	オーサリングソフト起動	1-1 正常に起動すること 1-2 認証画面が表示され、ログイン後に正常にメニュー画面が表示されること	
チェック2	Line-In 制御	2-1 AV機器選択画面で選択すると、Line-outから出力される再生音はLine-outから出力される 2-2 AV機器選択画面で選択すると、Line-outから出力される再生音はLine-outから出力される	
	マイク制御	2-3 AV機器選択画面でリモコンできる再生音はLine-outから出力される	
チェック3	教材作成パソコンに教材保存	3-1 AV機器を選択して音声取り込みができる教材作成パソコン内に音声教材を保存できる 3-2 AV機器を選択して音声取り込みができるサーバーへ音声教材を登録できる	
チェック4	教材作成パソコン内の音声教材再生	4-1 教材作成パソコン内の音声教材を参照できる / 音声教材を選択して再生できる再生音はLine-outから出力される 4-2 サーバー内の音声教材を参照できる / 音声教材を選択して再生できる再生音はLine-outから出力される	
チェック5	WBT型教材作成画面からプレビュー実施	5-1 Internet Explorerが正常に起動できる / WBT型教材が正常に起動できる / 動画ファイルを再生できる / アップロード・ダウンロードができる / ヘッドセットから音声が入聞こえる	

コピーしてお使いください。

## システム動作確認（つづき）

# トラブルシューティング

ここでは、動作チェック時および運用中に起こったトラブルへの対処方法を説明します。「確認していただく内容」に従ってご確認ください。それでも直らないときはシステムの電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

## セットアップに関するトラブル

症状	確認していただく内容
セットアップできない	<ul style="list-style-type: none"><li>● サポートされているOSかどうか確認してください。</li><li>● ハードディスクの空き容量を確認してください。</li></ul>
アンインストールできない	<ul style="list-style-type: none"><li>● オーサリングソフトが起動中であれば終了してください。</li></ul>

## 起動に関するトラブル

症状	確認していただく内容
制御パソコンが起動しない	<ul style="list-style-type: none"><li>● OSが起動しない場合は、OSを再インストールしてください。</li></ul>
オーサリングソフトが起動しない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 表示されるメッセージの内容に従って、対策を行ってください。</li><li>● オーサリングソフトを再度セットアップしてください。</li></ul>
ログインできない	<ul style="list-style-type: none"><li>● オーディオサーバーが起動しているか確認してください。</li><li>● ネットワークが接続されているか確認してください。</li><li>● オーディオサーバーの設定を確認してください。</li><li>● ユーザー名、パスワードを確認してください。</li></ul>
プロセッサユニットとの接続に失敗する	<ul style="list-style-type: none"><li>● プロセッサユニットとの接続を確認してください。</li><li>● プロセッサユニットの電源が入っているか確認してください。</li><li>● USBドライバが正しくセットアップされているか確認してください。</li></ul>
ティーチャーユニットとの接続に失敗する	<ul style="list-style-type: none"><li>● ティーチャーユニットとの接続を確認してください。</li><li>● USBドライバが正しくセットアップされているか確認してください。</li></ul>
PanaBOXとの接続に失敗する	<ul style="list-style-type: none"><li>● PanaBOXの電源が入っているか確認してください。</li><li>● PanaBOXの接続を確認してください。</li></ul>
オーディオサーバー／ファイル配信サーバーへ接続できない	<ul style="list-style-type: none"><li>● オーディオサーバー／ファイル配信サーバーが起動しているか確認してください。</li><li>● ネットワークが接続されているか確認してください。</li><li>● オーディオサーバー／ファイル配信サーバーの設定を確認してください。</li><li>● ユーティリティで行った設定が正しいか確認してください。</li><li>● opt、mfsフォルダーの共有名が正しいか確認してください (opt\$, mfs\$, mfs2\$)。</li></ul>

# トラブルシューティング (つづき)

## 音声に関するトラブル

症状	確認していただく内容
AV機器の音声ヘッドセットから聞こえない	<ul style="list-style-type: none"><li>●ヘッドセットのプラグをしっかりと差し込んでください。</li><li>●ティーチャーユニットまたはスチューデントユニットのヘッドセット音量調節つまみ [PHONES] で音量を調節してください。※</li><li>●ティーチャーユニットまたはスチューデントユニットの音声接続を確認してください (☞プロセッサユニット取扱説明書)。※</li><li>●該当するAV機器の電源が入っているか確認してください。</li><li>●該当するAV機器とプロセッサユニット後面のAUDIO IN L/R端子の接続を確認してください。※</li><li>●プロセッサユニットにコミュニケーションカードがしっかりと差し込まれているか確認してください (☞プロセッサユニット取扱説明書)。※</li></ul>
マイクの音声ヘッドセットから聞こえない	<ul style="list-style-type: none"><li>●ヘッドセットのプラグをしっかりと差し込んでください。</li><li>●ティーチャーユニットまたはスチューデントユニットのヘッドセット音量調節つまみ [PHONES] で音量を調節してください。※</li><li>●ティーチャーユニットまたはスチューデントユニットの音声接続を確認してください (☞プロセッサユニット取扱説明書)。※</li><li>●マイクの電源が入っているか確認してください。</li><li>●マイクとプロセッサユニット後面のAUDIO IN L/R端子の接続を確認してください。※</li><li>●プロセッサユニットにコミュニケーションカードがしっかりと差し込まれているか確認してください (☞プロセッサユニット取扱説明書)。※</li></ul>
サーバー教材の音声音が音切れする	<ul style="list-style-type: none"><li>●ヘッドセットのプラグをしっかりと差し込んでください。</li><li>●本システム以外のアプリケーションソフトを使用して、オーディオサーバーのデータディスクにアクセスしている場合は、速やかにアプリケーションを終了してください。※</li><li>●オーディオサーバーでシステムの状態を確認してください (☞システムソフト 取扱説明書)。※</li></ul>
サーバー教材の音声ヘッドセットから聞こえない (教材送出、オンデマンド)	<ul style="list-style-type: none"><li>●オーディオサーバーが正常に起動しているか確認し、起動していない場合は、制御パソコン、先生パソコン、学習者パソコンを一度、終了してから起動し直してください。※</li></ul>

※制御パソコンシステムソフトから起動している場合のみ。



症状	確認していただく内容
音声教材の音声がヘッドセットから聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オーディオサーバーが正常に起動しているか確認し、起動していない場合は、制御パソコン、先生パソコン、学習者パソコンを一度、終了してから起動し直してください。</li> </ul>
ルームスピーカーから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンプの電源が入っているか、音量設定が適正か確認してください。※</li> <li>●ティーチャーユニットのスピーカーON / OFFスイッチが「ON」になっているか確認してください。※</li> <li>●ティーチャーユニットのスピーカー制御コネクタにケーブルがしっかりと差し込まれているか確認してください。※</li> <li>●プロセッサユニット後面のAUDIO OUT SP端子の接続を確認してください（☞プロセッサユニット取扱説明書）。※</li> <li>●プロセッサユニットにコミュニケーションカードがしっかりと差し込まれているか確認してください（☞プロセッサユニット取扱説明書）。※</li> </ul>
制御パソコンでリモコン操作できないAV機器がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>●該当するAV機器の電源が入っているか確認してください。※</li> <li>●PanaBOXの電源が入っているか確認してください。※</li> <li>●PanaBOXの接続を確認してください（☞プロセッサユニット取扱説明書）。※</li> <li>●該当するAV機器を直接操作して動作するか確認し、動作しなければ、AV機器の故障と思われます。動作すれば、AV機器およびPanaBOXの接続や設定を確認してください（☞プロセッサユニット取扱説明書およびシステムソフト 取扱説明書）。※</li> </ul>

※制御パソコンシステムソフトから起動している場合のみ。

## パソコンに関するトラブル

症状	確認していただく内容
制御パソコンの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タッチパネルディスプレイとパソコンの接続を確認してください。※</li> <li>●マウスおよびキーボードの接続を確認してください。※</li> </ul>

※制御パソコンシステムソフトから起動している場合のみ。

# トラブルシューティング（つづき）

---

## 動画再生に関するトラブル

---

症状	確認していただく内容
動画ファイルを再生した際に、正常に再生されない	<ul style="list-style-type: none"><li>● パソコンのチップセット、グラフィックのドライバを最新版にバージョンアップしてください。</li><li>● 動画ファイル（MPEG-1）のエンコーダによる影響が考えられます。 下記推奨品をご利用ください。 カノーパス（株）製 ：MPEG2リアルタイムエンコーダ／デコーダ MVR-D2200（2004年6月現在）</li></ul>
サーバー教材の画像、音声が生途切れる	<ul style="list-style-type: none"><li>● ビデオサーバーの設定をご確認ください。</li><li>● 再生している動画ファイルの総ビットレートが設定値以上になっていないか確認してください。</li></ul>
動画ファイルが表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>● DirectX9.0bランタイムをセットアップしていない可能性があります。18ページをお読みください。</li></ul>

---

# エラーメッセージ一覧

---

ここでは、オーサリングソフト運用中に表示されるエラーメッセージの対処方法について説明します。エラーメッセージが表示された場合、「説明、対処方法」欄に記載されている手順に従って対処し、操作して確認してみてください。

対処してもエラーが解消しないときは、システムの電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

## セットアップに関するメッセージ

メッセージ内容	説明、対処方法
オーサリングソフトのセットアップに失敗しました。お買い上げの販売店へお問い合わせください。	再度オーサリングソフトをセットアップして、状況が変化しない場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
空きディスク領域が足りません。空き領域を増やしてからセットアップを行ってください。	メッセージの通りに行ってください。
オーサリングソフトのアンインストールに失敗しました。お買い上げの販売店へお問い合わせください。	何らかの原因でアンインストールに失敗しました。再度行っても状況が変わらない場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

## 起動に関するメッセージ

症状	確認していただく内容
オーサリングソフトの起動に失敗しました。お買い上げの販売店へお問い合わせください。	メッセージの通りに行ってください。
すでにオーサリングソフトは起動されています。	すでにオーサリングソフトが起動しています。起動していない場合は、Windowsを一度終了し、再起動してからオーサリングソフトを起動してください。
プロセッサユニットの接続に失敗しました。オーサリングソフトを一度終了し、接続を確認してから再起動してください。	本書のトラブルシューティング「起動に関するトラブル」を参照してください。
ティーチャーユニットの接続に失敗しました。オーサリングソフトを一度終了し、接続を確認してから再起動してください。	本書のトラブルシューティング「起動に関するトラブル」を参照してください。

## エラーメッセージ一覧 (つづき)

症状	確認していただく内容
サーバーへの接続に失敗しました。 サーバーへのアクセスを伴う機能に関しては、制限がかかります。	本書のトラブルシューティング「起動に関するトラブル」を参照してください。
ログインに失敗しました。再度正しくユーザー名、パスワードを入力してください。再度ご確認のうえ、入力してください。	ユーザー名、パスワードが登録されていません。
ユーザー名/パスワードは登録されていません。オーサリングソフトを終了し、再度ご確認のうえ、入力してください。	ユーザー名/パスワードが登録されていません。

### 教材新規作成に関するメッセージ

症状	確認していただく内容
入力されたフォルダー名はすでに存在します。別の名前を入力してください。	他のユーザーがすでに同じフォルダー名を使用している可能性があります。他のフォルダー名を入力してください。
教材名を指定してください。	教材名を入力してください。
教材作成パソコンのハードディスク空き容量が不足しています。音声取り込みを中止します。	メッセージの通りです。
サーバーの空きディスク領域が不足しているため、教材作成パソコンに保存します。	メッセージの通りです。
サーバーとの接続に障害が発生しました。一度、教材作成パソコン内に教材を保存します。お買い上げの販売店にお問い合わせください。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ネットワークケーブルが接続されているか？</li><li>● サーバーが起動しているか？</li><li>● ネットワークドライブが切断されていないか？</li><li>● 共有が解除されていないか？</li></ul>
CDプレーヤーに音楽CDが入っていません。確認してください。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 音楽CDが入っているか？</li><li>● 他のメディアが入っていないか？</li><li>● CD-Rなどを認識できない可能性はないか？</li><li>● CDドライブに異常が発生していないか？</li></ul>
PanaBOXとの接続に障害が発生しました。お買い上げの販売店にお問い合わせください。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● PanaBOXが接続されていない。</li><li>● ProcessorConfig.ini内の設定情報に矛盾が発生している。</li></ul>

## 教材編集に関するメッセージ

症状	確認していただく内容
対象となるレッスンまたはセンテンスまたはポーズを選択してください。	メッセージの通り行ってください。
対象となるフォルダー、レッスン、センテンス、ポーズのいずれかひとつを選択してください。	メッセージの通り行ってください。
コピーする音声教材（レッスン／センテンス／ポーズ）を選択してください。	メッセージの通り行ってください。
貼り付けを行う音声教材（レッスン／センテンス／ポーズ）を選択してください。	メッセージの通り行ってください。
コピー／切り取りを行ったレッスン／センテンス／ポーズを読み取れません。	メッセージの通りです。
フォルダー内に格納可能なレッスン数を超過してしまいましたので、他のフォルダーへ保存してください。	メッセージの通り行ってください。
削除する音声教材（レッスン／センテンス／ポーズ）を選択してください。	メッセージの通り行ってください。
選択したフォルダーの中には音声教材／WBT型教材があるので、削除できません。	メッセージの通り行ってください。
結合する音声教材（レッスン／センテンス／ポーズ）を選択してください。	メッセージの通り行ってください。
センテンス分割する音楽教材を選択してください。	メッセージの通り行ってください。
レッスン分割する音楽教材を選択してください。	メッセージの通り行ってください。
レッスン分割を行うと、レッスン名が規定の文字数を超過してしまいます。18文字以下でレッスン名を変更してください。	メッセージの通り行ってください。
二つのレッスンを選択してください。	メッセージの通り行ってください。
二つのセンテンスを選択してください。	メッセージの通り行ってください。
波形表示区間の設定はできません。もう一度設定してください。	設定区間が9秒以下に設定されているか、音声教材より長い時間が設定されている可能性があります。
音声教材作成パソコンからアップロードするレッスンを選択してください。	メッセージの通り行ってください。
アップロード先をサーバー内のフォルダーから選択してください。	メッセージの通り行ってください。

## エラーメッセージ一覧 (つづき)

症状	確認していただく内容
サーバーからダウンロードするレッスンを 選択してください。	メッセージの通り行ってください。
アップロード先を教材作成パソコン内の フォルダーから選択してください。	メッセージの通り行ってください。
音声教材の内容は変更されています。変 更を保存しますか？	メッセージの通り行ってください。
サーバーとの接続に障害が発生したため アップロードがキャンセルされました。 教材作成パソコンに保存します。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ネットワークケーブルが接続されているか？</li><li>● サーバーが起動しているか？</li><li>● ネットワークドライブが切断されていないか？</li><li>● 共有が解除されていないか？</li></ul>
サーバーとの接続に障害が発生したため ダウンロードがキャンセルされました。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ネットワークケーブルが接続されているか？</li><li>● サーバーが起動しているか？</li><li>● ネットワークドライブが切断されていないか？</li><li>● 共有が解除されていないか？</li></ul>
教材作成パソコンの空きディスク領域が 足りないため、ダウンロードすることが できません。	メッセージの通りです。
サーバー内の空きディスク領域が足りな いため、アップロードすることができま せん。	メッセージの通りです。
指定したフォルダーへは、格納可能なレ ッソンの最大数を超過してしまうためダウ ンロードできません。フォルダーを新規 作成してからダウンロードしてください。	メッセージの通り行ってください。
指定したフォルダーへは、格納可能なレ ッソンの最大数を超過してしまうためアッ プロードできません。フォルダーを新規 作成してからアップロードしてください。	メッセージの通り行ってください。
参照可能なフォーマットと異なります。 再度選択してください。	メッセージの通り行ってください。

---

## WBT型教材編集に関するメッセージ

---

症状	確認していただく内容
既に設定されているハイパーリンク先を削除しますか？	メッセージの通り行ってください。
既にハイパーリンク先が設定されている文字列があります。確認してください。	メッセージの通り行ってください。
これ以上ハイパーリンクを設定できません。	設定可能なハイパーリンクの上限値を超えてしまいました
表示可能な文字数の上限を超えています。	メッセージの通り行ってください。
フォルダー内に格納可能な教材数を超過してしまいました。他のフォルダーへ保存してください。	メッセージの通り行ってください。
編集中の教材は破棄されます。よろしいですか？	メッセージの通り行ってください。
これ以上スタイルは削除できません。	スタイルを全て削除することはできません。
サーバー教材の上書き保存はできません。教材を別名で保存してください。	サーバー上の教材を直接編集し、保存することはできません。
フォルダー名称を変更できません。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ネットワークケーブルが接続されているか？</li><li>● サーバーが起動しているか？</li><li>● 共有が解除されていないか？</li></ul>
選択ファイル内に表示できないファイルが含まれています。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ネットワークケーブルが接続されているか？</li><li>● サーバーが起動しているか？</li><li>● ファイルが削除されている。</li></ul>
選択したファイル動画ファイルはサポートされていません。	選択した動画ファイルはサポートされていないか、異常なファイルである可能性があるため選択できません。

---

<b>便利メモ</b> おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WE-AS870A
	販売店名	電話 (      )      -				

**松下電器産業株式会社**

**首都圏本部**

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目15番5号      電話    フリーダイヤル    0120-878-410